

事後報告書

相関基礎科学系博士二年 小川 亮

私は「修士・博士課程学生のため国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2018年8月19日から24日にわたって中国・北京で開催された、12th international conference on materials and mechanisms of superconductivity and high temperature superconductors (M2S-2018 conference)に参加しました。この会議は、3年に一度開催される超伝導及びそのメカニズムに関する国際会議で、国際的な超伝導研究コミュニティのメンバーに、最新の研究結果の報告、情報とアイデアの交換、そして共同研究の促進のためのプラットフォームを提供することを目的としています。高温超伝導の発見を機に、1988年にスイスのinterlakenで第1回が開催され、第12回となる今回は、開催国の中国をはじめとして日本、アメリカ、ドイツなどから約1200人が参加しました。



この会議で、私は「Direct Current Measurement of Hall Effect in the Mixed State for the Iron-chalcogenide Superconductors」というタイトルで、自身の研究内容についてポスター発表を行いました。また他の講演者の発表を聞くことで、最新の超伝導研究の結果について、多くの知見を得ることができました。

今回、M2S-2018 conferenceに参加したことは非常に有意義なものとなりました。この経験を活かして更に自身の研究深めたいと思います。

最後に、この研究会への参加のため金銭的な援助をしてくださった本助成プログラムに感謝申し上げます。

